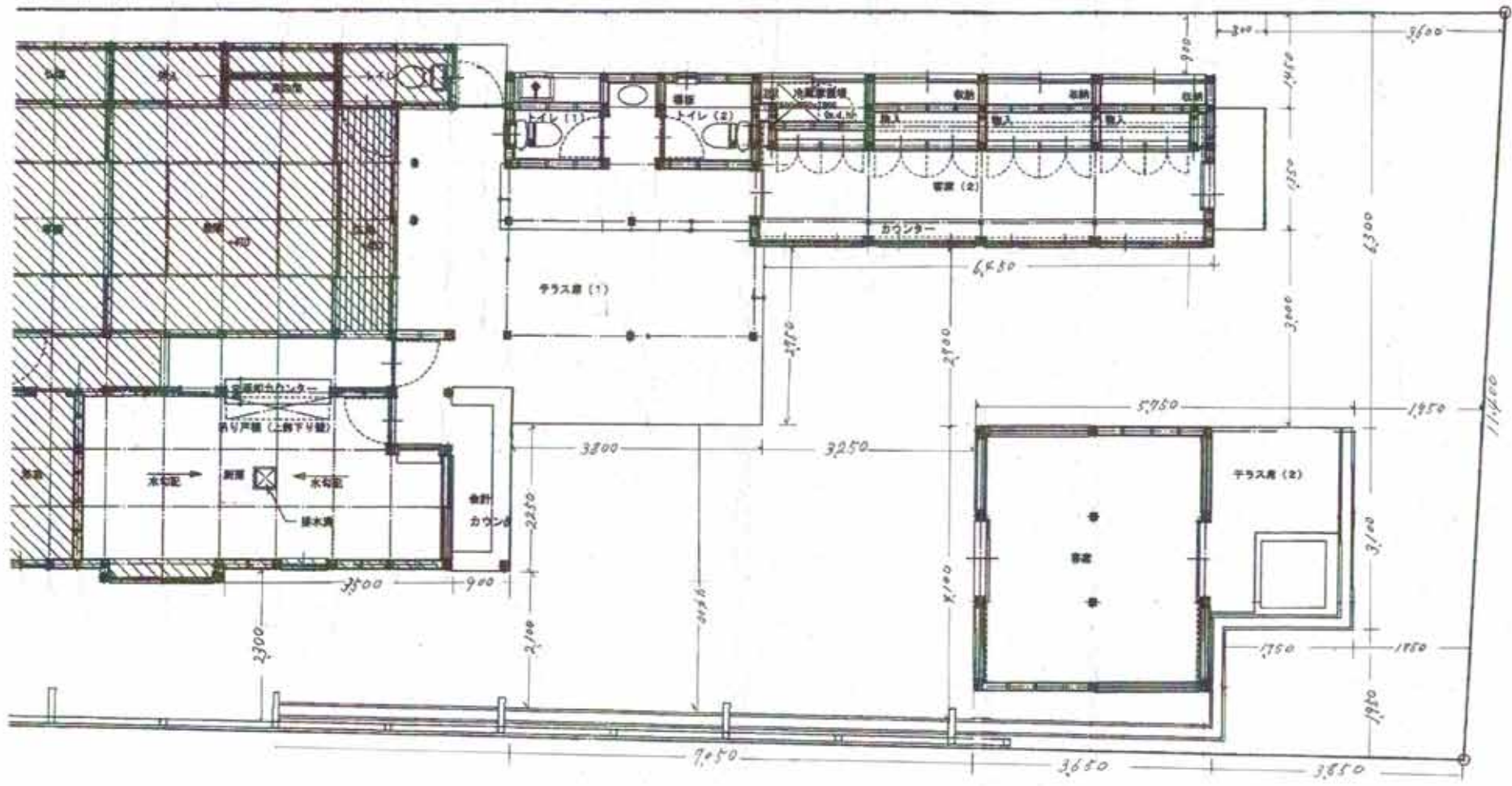


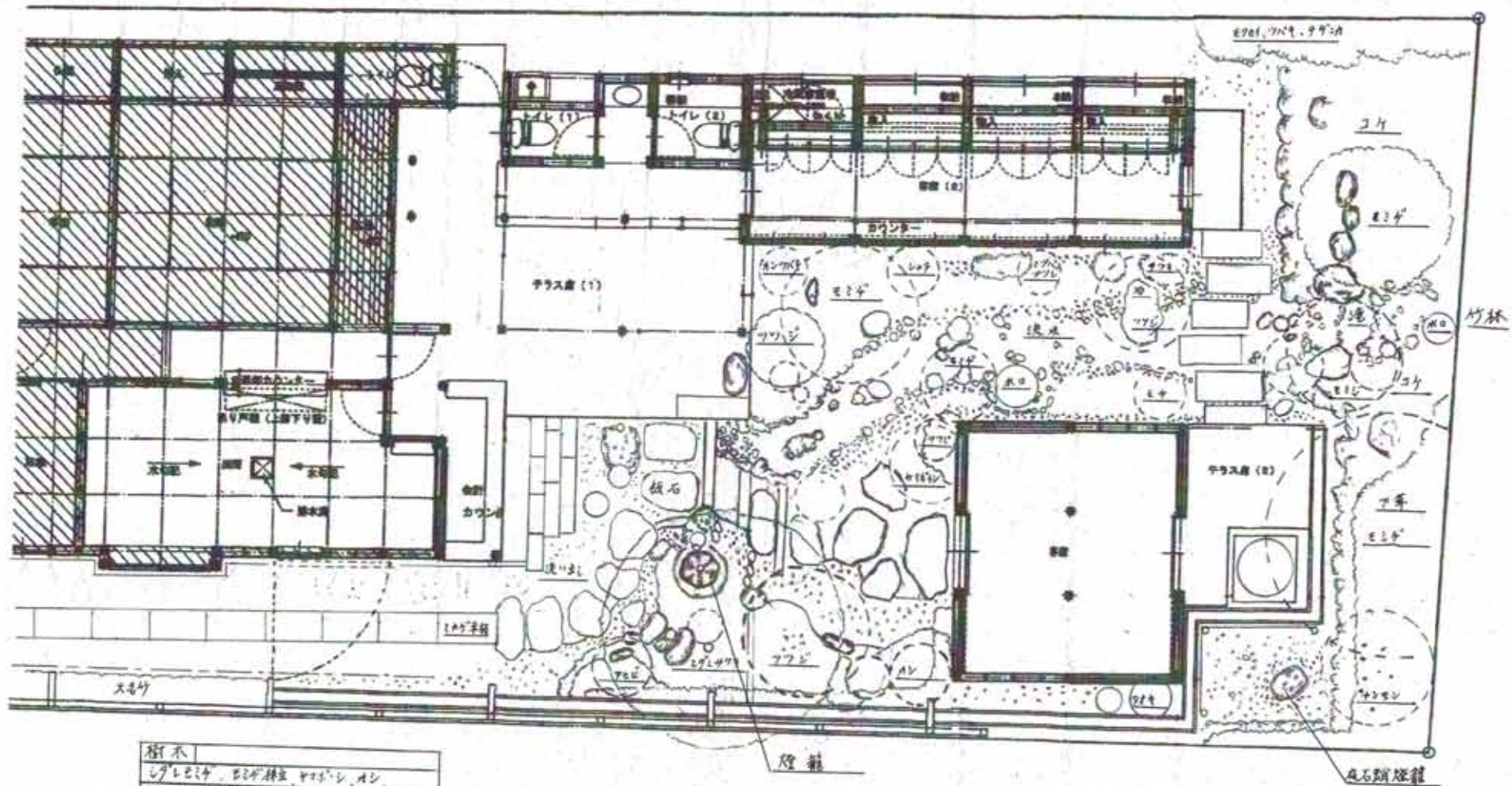
日本庭園協会

庭園協会賞 応募作品

庭師 庭心
加藤 平一



三芳屋真面配置図
図面作成 平成28年11月
工事箇所 成田市中町
縮尺 1:600
請負会社 株式会社庭加藤
設計施工 庭師 庭心(加藤平一)



樹木
シラビシ, シラカシ, ヤマシ, アシ
フジ, ナツハシ, ミヤマフジ, ミヤマフジ
スズナ
樺木
ツツジ, ツバキ, シロツバキ, シロツバキ
下草
エノキ, アサギ, オドリコソウ, アサギマン, ニリンソウ
アサギソウ, アサギソウ, アサギソウ, アサギ
シュンラン, アサギソウ, アサギソウ, アサギソウ
アサギソウ, アサギソウ, アサギソウ

三芳屋庭園配置図
図面作成 平成28年11月
工事箇所 成田市中町
縮尺 1:600
請負会社 株式会社庭加藤
設計施工 庭師 庭心 (加藤平一)

三景園について

造って造らず、無心に鳴る事でこの度、成田山参道中程に甘味ところ三芳家の庭園を施工致しました。

まず成田山参道から三芳家入り口を見た時に、成田山の竹林、自然の風景、特に多くの店舗が並ぶ街並みの中、この狭い空間をいかに一目見ただけで純和風の癒しの空間がある事が解る様にと、朱色の野天傘及び燈籠を配置する事で、成田山を訪れた方々や海外の方々にも目にとまる、心安らぐ空間がある事が感じられる様にと、緑を中心に、そして庭石などはごくごく小石を配置する事で依り自然の風景に近い庭園を目指しました。

竹山の下には、水が自然に流れ出す姿を想定出来るように、小滝から水が流れ出し、その周辺に自然に近い石組み、苔しだなどを配置して庭を見た皆様が日常の疲れを癒し心に安らぎを得られる様にと配慮致しました。

その為完成より一年以内で自然と溶け込む庭園にしたいと、小さな石、小さな細立ちの樹木を植栽して、小さな面積でも大きな自然界の姿を満喫でき、一年間四季折々の草花や樹木の緑、又は紅葉など年間を通し楽しめる庭を制作致しました。

特に、小石に依り自然の風景に近い姿で庭を大きく見せ、落ち着きのある部分を造る為、その場にある土材とコンクリートを利用して石と石をつなぎに、苔を張る事を試みて見ました。千葉県地層は関東ローム層により土の下に岩盤がない為置き石をそのまま据えた場合、数年で沈下してしまう為、今回は300 kgから700 kgの石に対して、川の流れのコンクリート部分と、景石部分を分離して、石が下がっても自然な小流を持続できるように致しました。

又、この度の三景園には化け燈籠の一つとして、現場にある資材を利用して頂き、風情のある燈籠を作って見ました。(今回の燈籠の名称は庭心蛸燈籠と命名とさせて頂いております。)

冒頭にも書きましたが、造って造らず、無心の心で癒しの空間三景園を造園致しました。

そして、成田山新勝寺を訪れた報道関連の撮影などでも度々利用させて頂いております。

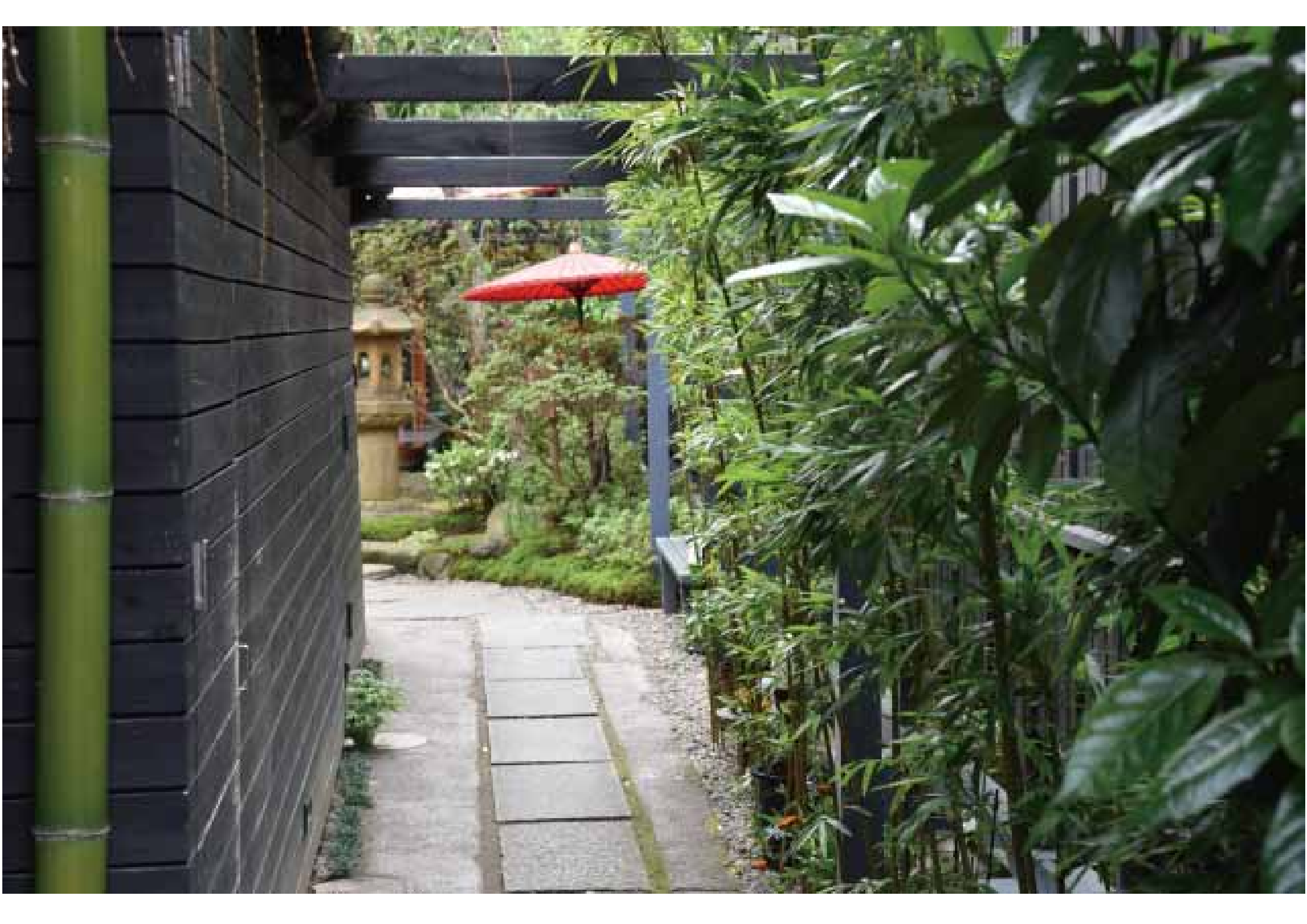
完成日

平成二十八年十二月朔日

三景園

株式会社 庭加藤

作者 庭師 庭心



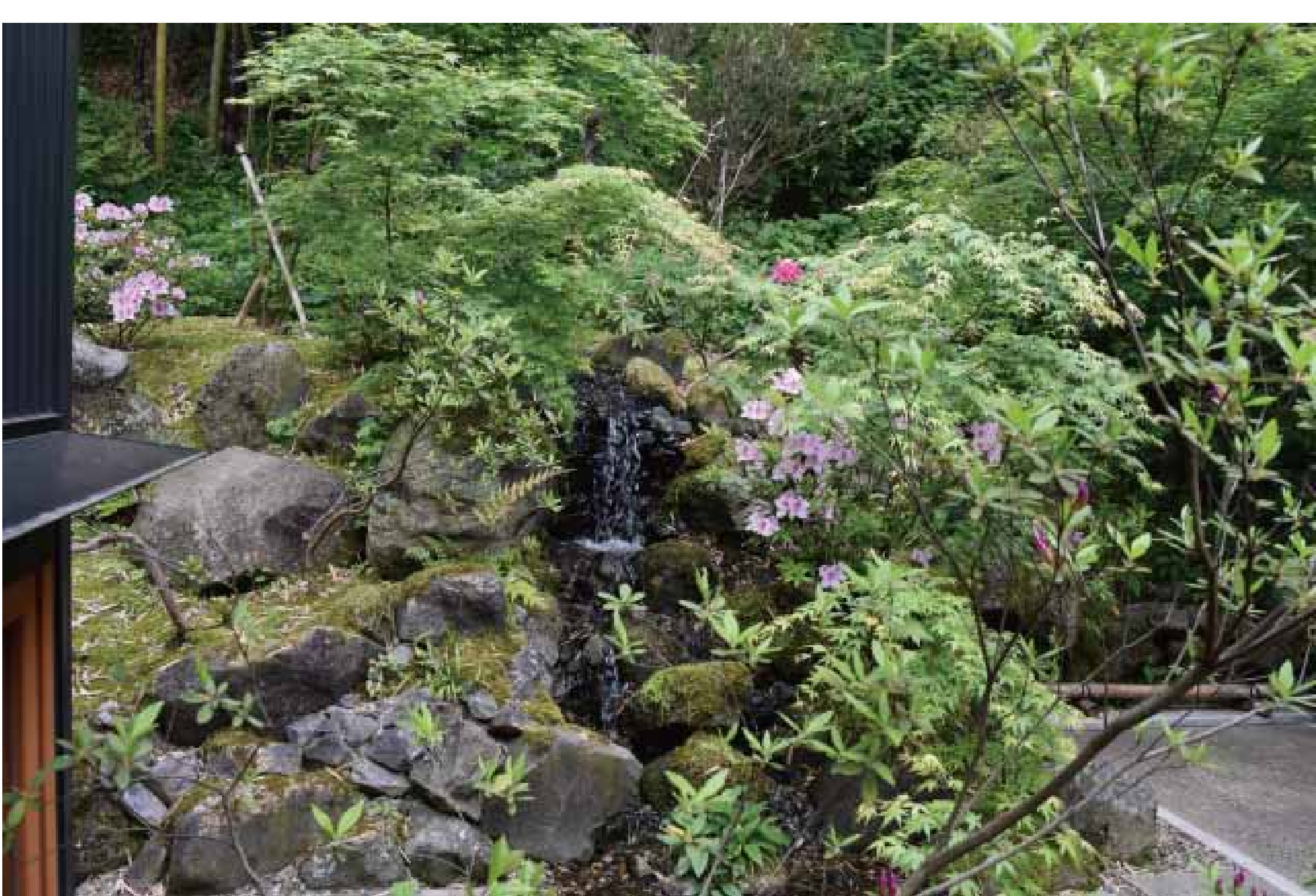






















社会貢献及び造園業界の発展への従事について

1. 造園の技術を造園業に携わっている方々や、少しでも興味のある方々に聞いてもらえる様にと毎月第三土曜日 19:30 より 21:30 に講習会なども開いております。
2. 作庭を行った順に自信の庭園写真を使用し毎年カレンダーを作成する様にと心がけております。それにより、毎年庭作りをする件数が増えております。
3. 作庭に当たっては、お客様が理想の金額での作庭をお願いされますが、請負金額に関係なく、お客様の意向に出来るだけ添えるように心がけており、作品が本物であると確信出来るように、庭師、庭心を襲名致しました。
4. 店舗内の庭園に関しては、訪れた皆様が見学出来、記念写真を撮影したいと思うような庭作りをする様に、心がけて作庭致しました。
5. 庭園内に庭園名称の記念碑を建てる際、日本庭園協会会員として、協会に恥にならない様に努力していきたいと思っております。

株式会社 庭加藤

庭師 庭心

— 美 研 —

庭園研究会



☎ 0476-36-8415





有限会社

庭加藤

時がゆるやかに流れる

感謝状

平成25年10月1日
鎌山市長 平澤氏

あたくしは、城山公園園地を巡る
経路建設に際し、全体的な植栽
理にあたり、従事した技術者様
誠意あふれるご業務にご感謝さ
す。また、
よきごまに深く感謝の意
を表します。



昭和 63 年 9 月 21 日

(社)日本庭園協会
理事長 吉川 需

貴市において建設ご計画中の、城山公園日本庭園の設計・施工に関して、本協会技術部所属の会員加藤平一氏と、本協会千葉県支部に近い性格を持つ東風（こち）庭園研究会のメンバーが、実施できる技術を保持するものとして、ここに推薦いたします。

館山市の城山公園は城跡史跡として、貴市としては由緒ある場所であり、埋蔵遺跡の可能性も多々秘めているやに聞きおよびます。そのような地域に策定する日本庭園には、一般の都市公園と同一の公共造園手法より、旧来の伝統的作庭技法を主とし、かつ埋蔵遺跡の保護といった見地も踏まえた作業が必要と考えられます。

本協会では、平素、伝統庭園技法の指導研修を講義、実習を含め多角的に実施しており、今回推薦のメンバーもその習得者であり、すでに協会としてその技術が千葉県下で優秀であることを認めております。

本協会としても、ぜひ千葉県在住の日本庭園技術者に、貴市が好機を与えられますことを願ってやみません。これを機として貴県下に県内造園家による庭園作品が続出する気運が生ずれば、各地域造園の発展にもつながることとなり、21 世紀造園に新風を吹き込むことと思われま。

なお本協会は、大正 7 年に発足以来、本年で 70 周年を迎えますが、ご参考のため定款 1 部と会員名簿 1 部添付いたします。

ただし本年度名簿は只今印刷中のため 61 年度版となります。従って役員等にも異動があり、本年度は名誉会長・宇野宗佑（衆議院議員、外務大臣）、相談役・斉藤勝雄（斉藤庭園研修舎、九十九里町在住）、理事長・吉川需（前・日大教授、文化財保護委員会専門審議委員、農博）、副理事長・北村信正（前・東京都公園協会理事長）、常務理事・小泉賀一郎（事務局長）、常務理事・龍居竹之介（龍居庭園研究所）、常務理事・中瀬操（中瀬庭芸）の体制であります。またこのほか理事として、荒木芳邦（荒木造園：大阪）、柴田元之助（柴田集花園）、野中松太郎（野中庭園研究舎：北海道）、樋沼恕（岩城造園）、松田正美（共楽園：長崎）、村岡正（庭園文化研究所、文化財保護委員会専門審議委員：京都）、吉村金男（吉村造園）等が技術部を担当しております。

簡単ではありますが、加藤平一氏、東風庭園研究会に関しての推薦と、本協会について若干ご説明いたしました。

ご高配給われれば幸いです。

以上

千葉県館山市 館山城 米国ベリンハム市 市職員 庭園研修で来日 (42歳)



千葉県館山市 館山城公園 千葉県知事 庭園視察 沼田前知事（平成元年：当時）（40歳）



千葉県館山市 城山公園 テレビ朝日「やじうまワイド」(40歳)



平成3年成田観光協会 (社) 日本庭園協会推薦作品



INTERVIEW

ねごとわーく

自由な発想でアートする 注目の作家

加藤 斗一 さん



かとう へいいち 群馬県生まれ。平成2年、館山市城山公園日本庭園を造成。「庭・加藤」代表取締役。41歳

「時越えた素晴らしいものを」

伝統的な作庭技術の種を集めた日本庭園。庭師と呼ばれるプロの職人たちが生み出す、形式美の空間だ。が、この人は、そんな職人感覚をみじんも感じさせない。

「昨年、館山市の城山公園に約一千五百平方メートルの日本庭園を造成し、注目を浴びた「作家」だ。庭師が、自由な発想で日本庭園をアートする。」「ねじり鉢巻きに類生から「庭を作るには心が必要だと教えられた。しのはんでん。そんな書が必読だと教えられた。」「昨年成田観光光園に作った日本庭園は外国人観光客にも大好評だ。」「時間がたっても鑑賞できるものを作りたい。今、そろいのユニホームを作ろうと知恵を絞っているんです」と語る意匠に、伝統文化に新風を吹き込むパワーがあらわれてくる。この「味の世間」

は、言葉では語れない。ただ、「意識的に作ろうとした時でなく無心になった時、自分の力以上の庭ができる」という。

そんな加藤さんの「作品」に魅せられて弟子入りしてこる後継者たちも多い。今は五人の社員とともに県内各地をとり回す。昨年成田観光光園に作った日本庭園は外国人観光客にも大好評だ。

「時間がたっても鑑賞できるものを作りたい。今、そろいのユニホームを作ろうと知恵を絞っているんです」と語る意匠に、伝統文化に新風を吹き込むパワーがあらわれてくる。この「味の世間」

(原口隆則)

Who's Who

昭和62年 千葉県成田市国際文化会館にて個展開催

協賛 (社) 日本庭園協会

後援 朝日新聞社 読売新聞社 毎日新聞社 千葉日報社



苔の世界

庭園写真展

加藤庭園企画
有限会社 福田造園土木

ごあいさつ
庭は、住む人に心の安らぎを与える場所と考えております。私の作る庭は、緑・水・空として空間。この緑の形が生きれば、庭になるのではと。そして自然美を生活行事により心を癒す庭になるのではと思っております。
今回は、成田市成徳で制作させて頂いた作品を写真に致しました。これを皆様の賞賛に応えられる制作の第一歩と考えております。
皆様の忌憚のない御意見を賜りまれば幸甚と存じます。

主催 加藤庭園企画
作家 加藤 健一
撮影 (社) 日本庭園協会
現代庭園研究会
現代園芸研究会
日本現代造園家連盟

共催 社団法人 日本庭園協会
有限会社 福田造園研究所

後援 青森県 雄
東北庭園研究会
朝日新聞社 成田支局
毎日新聞社 成田支局
読売新聞社 成田支局
千葉日報社 成田支局

平成7年 (社) 日本庭園協会 千葉県支部設立 支部長任命

平成8年 (社) 日本庭園協会 評議員任命

株式会社ナリコー 寺台ホール 平成 30 年 7 月完成





庭園

山手
庭師
在

2017年カレンダー



庭園設計株式会社 (大塚園) 2017年12月発行
2017-02-10発行 価格 400円

平成29年 2017年
1月 毎月

	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

株式会社  加藤
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1